

日高町 議会だより

No.59

令和2年2月21日発行
日高町議会



《 二葉保育所 節分 「鬼は外～！ええ～い！！」 》

議会12月会議…………… 2p

一般質問は7人

「事業系一般廃棄物の適正処理を」

ほか…… 8p

12月会議は12月11日から13日まで3日間の会期で開催されました。

7名の議員が一般質問に立ち、より良い町政を進めるために活発な議論を展開しました。町長等の給与に関する条例の改正、日高町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の制定等の議案、令和元年度日高町一般会計補正予算・特別会計補正予算が十分な審議を経て可決されました。

この他に『厚生労働省による「地域医療構想」推進のための公立・公的病院の「再編・統合」に抗議し、地域医療の拡充を求める意見書』など3つの意見書と、『苦小牧信用金庫日高代理店廃止に伴うATM業務終了に対してATM業務の継続を求める決議』が可決されました。

議会12月会議

町長の行政報告

富川診療所医師

平成29年10月から勤務いただいていた糟谷清医師であります。本年1月から体調を崩され、入退院を繰り返しながら治療に専念されておりましたが、病気療養中も回復を信じ、職場復帰を目指しておられましたところ、容態が急変し、11月25日にご逝去されました。糟谷医師は、平成30年1月から富川国民健康保険診療所長として経営の安定と地域医療の提供に尽力され、一次医療の確保に努めていただいたところであります。誠に残念な事態となりました。

ここに改めて、ご冥福をお祈り申し上げます。

なお、後任の医師確保につきましても、北海道地域医療振興財団及び全国自治体病院協議会などに依頼し、早急に招聘の目処をつけたいと考えている次第であります。

苦小牧信用金庫日高代理店の廃止

以前より苦小牧信用金庫日高代理店については、苦信側より廃止の方向で検討しているとし、当該店舗については町側に利用していただきたいとの話があり、町としては店舗の譲受については、有効利用は難しいことからお断りしました。が、総合支所内へのATM設置については検討した経緯がありました。

こうした中、先日、苦信側より、「来年3月19日をもって、日高代理店の廃止並びにATMを撤去することが理事会で決定した。」旨の内容が口頭により通告があったところです。代理店廃止の理由は、不採算店舗の整理ということにあります。

町といたしましては、不採算店舗の整理については、一定程度理解できるものの、ATMの廃止につきましては、存続をその場で申し入れたところですが、日高代理店ATMは利用が極めて少ないこと、また、トラブ

ルが発生した場合、距離的な問題もあり即座の対応ができないことから難しいとのことでありました。

ATMの廃止は日高地区住民に不便さを強いることとなることから、町としては、来週早々にも苦信を訪問し、改めてATM存続の申し入れを行うこととしております。

なお、日高代理店廃止に係る顧客への周知につきましては、苦信が個々に行い、融資については、不便にならないようにすることでありました。

道南バスの路線廃止

去る、12月5日、道南バスが運行する都市間バス路線の廃止について、関係する日高町、平取町、むかわ町、厚真町の4町長により要請を行いましたので、その経過をご報告いたします。本年、10月16日に道南バスが運行する高速ひだか号及び特急ひだか号の路線廃止の通知を受け、11月14日に沿線関係4町により路線維持に係る要望書を提出し、

11月18日、この要望に対する回答があったところでありませんが、その内容は苫小牧駅前まで運行する特急ひだか号については、当分の間運行を継続するとの回答でありましたが、札幌駅前まで運行する高速ひだか号については、本年12月20日をもって廃止する旨の回答でありました。

沿線住民にとって札幌市、苫小牧市とを結ぶ重要な2路線であり、特に日高地区におきましては、日高ターミナルを発着し、乗り換えすることなく都市部へ乗り入れる交通手段であります。また、廃止の通知から約2ヶ月後という性急な廃止でもありますので、改めて路線の維持を要請したところであります。

要請日当日、最近の状況として深刻な乗務員不足や運行路線の赤字の説明を受けたところですが、道南バス長谷川社長からは、札幌駅前までの高速ひだか号について、乗務員の確保など運行体制が整った際には、再度運行することを考える

という話があったため、それでは、運休ということを確認したいと、申し入れた結果、当初の路線「廃止」から、「運休」とする旨の回答を得ることができました。なお、この間における代替的な移動方法として、富川での乗り継ぎが必要となりますが、札幌行き「高速ペガサス号」を利用することが可能となるダイヤ改正を行うとのことであります。残念ながら、高速ひだか号につきましては、一時運休となりますが、引き続き沿線関係4町において、2路線を含め地域の公共交通の維持・確保に向け協力してまいります。

水稲の状況

令和元年12月10日発表数値

作況指数	北海道	104
	日高管内	106
10a当たり収量		571kg

野菜出荷状況

令和元年11月末現在

種別/項目	出荷額	前年対比
軟白長ネギ	1億8406万円	△17%
ホウレンソウ	1493万円	△14%
アスパラ	5411万円	0%
ピーマン	2億5469万円	+7%
トマト	3億8670万円	△8%
イチゴ	2986万円	△17%

第一次産業の状況

○水稲

日高管内の作況指数は、106の「良」となりました。

○野菜

全体で前年を7%下回りました。

今年天候が安定して推移し、作物の生育はおおむね順調でありましたが、作付面積の減少が出荷額減少の主な要因になったと考えられます。

○畜産

軽種馬関係では、9月29日に行われた中央競馬GIレース第53回スプリンターズステークスにおいてダーレージャパンファーム(尙)生産のタワオブロン号が優勝しました。

ダーレージャパンファーム(尙)生産馬は昨年のファイニンードル号に続き、スプリンターズステークス2連覇となります。

10月14日に行われた地方競馬統一JpnI第32回南部杯においては、(尙)ヤナガワ牧場生産のサンライズノヴァ号が優勝しました。

生産牧場はじめ、関係者のご努力に敬意を表し、心からお祝い申し上げます。

また、今年の軽種馬の市場取引の状況ではありますが、26億5242万円で、昨年より1億4115万円増の取引が行われております。

軽種馬の市場取引状況

令和元年現在

種別/項目	上場頭数	売却頭数	売却率	販売額	前年対比
JRHA(当歳馬)	17頭	12頭	70.6%	3億1250万円	△1億150万円
JRHA+HBA(1歳馬)	507頭	337頭	66.5%	20億6679万円	+1億6608万円
HBA(2歳馬)	48頭	39頭	81.3%	2億7313万円	+7657万円
合計	572頭	388頭	67.8%	26億5242万円	+1億4115万円

※JRHA：日本競走馬協会 HBA：日高軽種馬農業協同組合

肉牛（黒毛和牛）の販売状況

平成31年4月から
令和元年11月末までの実績

販売頭数	1027頭
前年対比	+2.0%
販売額	8億580万円
前年対比	+6.3%

生乳の出荷状況

平成31年4月から
令和元年10月末までの実績

出荷量	12108 t
前年対比	2.0%

○酪農

生乳の出荷量が前年対比2・0%増、肉牛につきましては出荷頭数が前年対比2・0%増、販売額も前年対比6・3%増の8億580万円、1頭当たり平均78万円の取引が行われている状況であります。

○漁業

本年4月から11月末現在の漁獲量は前年対比2・6%減となる1832トン、漁獲高につきましては、前年度対比25・6%減の5億9284万円となり全体で前年を下回る結果となりました。

平成31年4月から
令和元年11月末までの実績

漁業の状況

種別/項目	水揚量	前年対比	販売額	前年対比
さけ定置網漁	762.9 t	+6.8%	1億6309万円	△37.9%
かれい刺網漁	495.2 t	△7.3%	6696万円	△29.9%
ほっけ刺網漁	77.5 t	+125.9%	703万円	+3.5%
たこ漁	290.7 t	+29.6%	1億3799万円	△17.2%
つば籠漁	26.1 t	+11.5%	621万円	△21.4%
昆布漁	5.5 t	△71.6%	761万円	△68.6%
ホッキ栴曳き漁	21.4 t	+20.2%	1013万円	+67.7%
その他	152.7 t	△51.1%	1億9381万円	△14.8%
合計	1832.0 t	△2.6%	5億9284万円	△25.6%

【参考】*当町の特徴的な3魚種

さけ・ます、ししゃも、マツカワは、
各漁業の内数として計上

種別/項目	水揚量	前年対比	販売額	前年対比
さけ・ます	210.9 t	△31.7%	1億1829万円	△46.1%
ししゃも	24.9 t	△47.8%	4226万円	△45.5%
マツカワ	11.2 t	△42.9%	1217万円	△47.9%



《 鮭水揚げの様子 》



ホッカイドウ競馬

4月17日に開幕いたしましたホッカイドウ競馬は11月7日をもちまして80日間

の全日程を終了いたしました。

本年度の発売総額は、計画額及び前年実績額を大きく上回りました、25年ぶりに300億円を超える記録的な結果となりました。

主催者や競馬関係者のご努力、産地の皆様方のご支援、ご協力の賜と感謝を申し上げます。

本年度の発売成績につきましては、発売額が330億8214万4890円で、計画比125・8%、前年比で131・6%となりました。

また、開催期間中は、6万人の方に門別競馬場へご来場いただきまして、ホッカイドウ競馬を盛り上げていただきましたことにつきまして厚くお礼を申し上げます。次第であります。

なお、ホッカイドウ競馬では、開催期間の終了後も門別競馬場を初め、道内の場外発売所においてJRAや南関東競馬などの馬券を発売し、収益の確保に努めることとしております。

教育長の行政報告

各スポーツ全国大会



《 メダルを手に 》

○空手道選手権大会

富川空手スポーツ少年団所属

門別小学校6年生

井元千尋さん
いもとちひろ

11月4日に東京都で開催されました第13回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会に出場しました。

結果は1回戦で惜敗しましたが、全国大会への出場については、日頃の練習の成果であり、健闘をたえますとともに今後の活躍を期待しております。



《 海辺で板割り バキッ!! 》

○卓球選手権大会

日高町ジュニア卓球クラブ所属

門別中学校2年生

築山莉奈さん
ついでりな

門別小学校6年生

吉本はなさん
よしもと

11月8日から10日に山口県山口市で開催されましたJOCジュニアオリンピックカップ2019年全国卓球選手権大会（カデットの部）に出場しました。結果は、ダブルスではベスト16、シングルスでは築山さんが14歳以下の部で、



《 二人仲良く笑顔で 》

3回戦進出、吉本さんが、13歳以下の部で3回戦進出となりました。

なお、2名におかれましては、令和2年1月13日から19日に大阪市で開催されます、天皇杯・皇后杯2020年全国日本卓球選手権大会（ジュニアの部）への出場が決定しております。

全国大会への出場については、日頃の練習の成果であり、健闘をたえますとともに今後の活躍を期待しております。



《 未来の女子野球選手! 》

○NPB12球団ジュニア

トーナメント2019出場

野球スポーツ少年団JBC

日高ブレイヴ所属

門別小学校6年生

飯泉百華さん
いづみももか

北海道の選抜チーム「北海道日本ハムファイターズジュニア」に選拔され、12月27日から29日に札幌ドームで開催されますNPB12球団ジュニアトーナメント2019に出場することになりました。

選手選考では、928人の野球少年、少女が、全道各地から集まり、ピッチング、打撃、守備、走塁で自分の持てる力をアピールし、見事58倍の激戦を勝ち抜き16人の最終メンバーに選出されたものです。

将来は女子野球のトッププレーヤーを目指したいと聞いておりますので、夢に向かって一歩一歩着実に努力を続けていただくことを期待しております。



《 札幌ドームにて 》

議決案件

請願

採択

議案

原案可決

- ▼厚生労働省による「地域医療構想」推進のための公立・公的病院の「再編・統合」に抗議し、地域医療の拡充を求める請願
- ▼看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願
- ▼介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願
- (請願団体)
 - ・北海道医療労働組合連合会
 - ・勤医協労働組合
 - ・勤医協労働組合厚賀支部(紹介議員)
 - ・真壁悦夫議員

- ▼日高町長等の給与に関する条例の一部改正
- ▼日高町職員の給与に関する条例の一部改正
- 右記の二件は、人事院勧告に準じ、町長等特別職と職員の期末手当、職員の給与を改正
- ▼日高町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例
- ▼日高町パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例
- 右記の二件は、日高町会計年度任用職員制度の創設に伴う、給与及び報酬等の条例制定
- ▼日高町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
- 成年被後見人等に係る欠格条項を除く条例改正

正 ▼日高町公園条例の一部改正

千栄農村公園の使用不可となつた面積及び付属施設を削除する改正

◆元年度補正予算

原案可決

	補正額	歳入歳出総額
一般会計 (第4号)	6157万円増	102億 5292万円
国民健康保険事業特別会計 (第1号)	77万円増	16億 3813万円
後期高齢者医療事業特別会計 (第1号)	73万円増	1億 8467万円
日高国民健康保険診療所事業特別会計 (第1号)	619万円増	2億 244万円
富川国民健康保険診療所事業特別会計 (第3号)	579万円増	1億 5298万円
水道事業会計 (第2号)	880万円増	3億 5924万円
下水道事業会計 (第3号)	△630万円減	5億 3422万円
国民健康保険病院事業会計 (第1号)	717万円増	15億 7441万円

●主な内容 (一般会計)

ふるさと納税特産品発送業務委託増	1555万円
子どものための教育・保育給付費増	238万円
農業次世代人材投資事業補助金減	△572万円
新規就農促進対策事業補助金減	△108万円
ホッカイド競馬売上金増進対策負担金増	250万円
町道維持管理業務委託増	3000万円
住宅リフォーム補助金増	200万円

(富川国保診療所会計)

非常勤医師賃金等増	579万円
(水道事業会計)	
職員給与改定増	880万円
(下水道事業会計)	
職員給与改定減	△630万円
(国保病院事業会計)	
医師、看護師雇用委託増	1000万円
給食業務委託減	△400万円

**決
議**

質疑・討論後、採決の結果、賛成
全会一致で決議は可決されました。

■苦小牧信用金庫日高代理店廃止に伴うATM業務終了に対してATM業務の継続を求める決議

原案可決 (提出議員) 互野利夫議員

日高地区における経済や地域住民の日常生活に与える影響は甚大であり、日高町指定金融機関として地域住民の不便にならないよう要望する決議

**発
議**

▼日米共同訓練の規模縮小とオスプレイ参加の中止を求める意見書
▼災害救助法の見直しを求める意見書

否決

**発
委**

原案可決

▼議会改革調査・検討特別委員会の設置
議員定数及び議員報酬等について調査・検討するため設置しました。
委員は次のとおりです。

委員長 寺越 哲夫
副委員長 白石 典昭
委員 佐藤 はなえ

高橋 克徳
工藤 守弘
真壁 悦夫
互野 利夫



**意
見
書**

意見書は12月会議で2件が否決、4件が可決されました。
可決した意見書は関係機関に送付しました。
(内容は要約しています。)

■新たな過疎対策法の制定に関する意見書

原案可決 (提出者 議会運営委員長)

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくため、過疎地域に対して、総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支える政策を確立・推進することが重要である。過疎地域が、健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させる新たな過疎対策法の制定を要望する。

■厚生労働省による「地域医療構想」推進のための公立・公的病院の「再編・統合」に抗議し、地域医療の拡充を求める意見書

原案可決 (提出者 総務・民生常任委員長)

厚生労働省の公表「自治体等が運営する公的病院、道内54病院を含む424病院のリスト」と要請「統廃合・再編・ベッド縮小などの計画を具体化、再検証」を白紙撤回し、地域医療の安全・安心な医療を要望する。

■介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書

原案可決 (提出者 総務・民生常任委員長)

介護従事者の賃金の底上げをはかり、安全・安心の介護体制を確保するために、全国を適用対象とした介護従事者の最低賃金(「特定最低賃金」)を新設すること要望する。

■看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書

原案可決 (提出者 総務・民生常任委員長)

地域間格差が大きく、看護師の賃金水準が引き上がらず、看護師の地域偏在や離職者増を引き起こしている現状を改善するため、看護師の賃金の底上げをはかり、安全・安心な医療・看護体制を要望する。



工藤 守弘 議員

『事業系一般廃棄物の適正処理を』 『公立小中学校の児童・生徒数の現状は』

【廃棄物の適正処理】

問 事業者の処理責務はどうなっていますか。

答 事業者がその事業活動に伴って生じた廃棄物

については、自らの責任において適正に処理しなければなりません。

問 事業系ごみとは、どのようなものですか。

答 廃棄物のうち、事業活動に伴って生じたものを一般的に事業系ごみとい

います。
問 事業系一般廃棄物と産業廃棄物の違いは何ですか。

答 事業系一般廃棄物とは、事業活動に伴って生じた廃棄物のうち産業廃棄物として扱わないものをい

います。産業廃棄物は、事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、

法の規定により燃え殻、汚泥、廃油など21項目に区分

されています。
問 事業系ごみ処理の流れはどうなっていますか。

答 事業活動により発生したごみは、一般廃棄物と産業廃棄物に分別し、そ

れぞれの処理施設に事業者が直接搬入するか、運搬にか

かる許可を得ている業者に委託することとなります。
問 事業系ごみを家庭ごみの集積所に出すことは

できますか。
答 原則一般収集に入らないので、事業系ごみは

直接搬入になっています。以前クリーンセンターへ搬入していた事業者

は、現在どのような処理を

していますか。

答 現在、収集業者1社が参入し、5事業者が業

者に委託しています。他の事業者は衛生組合に直接搬

入されていると思います。日高地区の高寿園から排出されるごみは事業

系のごみですか。
答 事業系のごみと理解しています。

問 高寿園のごみの排出はどのようなになっていますか。
答 ごみステーションに出して、衛生組合が収集

しています。
問 事業系のごみは事業者が処理施設に直接搬入

するか、許可を得ている業者に委託するとなっていますが、衛生組合が収集して

いるのであれば、不適切な

取扱いではありませんか。

答 衛生組合のごみ収集処理手数料要綱第5条で

町の関係公共施設等とは役場、公民館、老人ホーム等

と町が主催するイベントのごみ等、直接運営管理するものとあり、高寿園は老人

ホームですので衛生組合が収集できると考えています。

問 高寿園は指定管理で運営しており、第5条でいう町が直接運営管理するものには当たらないと思

いますがどうですか。
答 今言われましたことに

ついては、現在衛生組合で検討し、今後取扱いが変更になることもあるのでは

はないかと思っています。
《答弁者 日高地区担当副町長・住民課長・地域経済課長》

【公立小中学校の管理・運営等】

問 町内小中学校の建築年度、児童・生徒数及び

学級数はどうなっていますか。
答 左表のとおりです。

《答弁者 教育委員会管理課長》

学校名	建築年度	児童・生徒数	学級別		計
			普通	特別支援	
日高小	S52	48名	5学級	1学級	6学級
富川小	S47	314名	12学級	3学級	15学級
門別小	S50	148名	6学級	3学級	9学級
厚賀小	S56	63名	6学級	3学級	9学級
日高中	H03	19名	3学級	—	3学級
富川中	S54	167名	6学級	2学級	8学級
門別中	S41	67名	3学級	—	3学級
厚賀中	S45	30名	3学級	—	3学級

（令和元年5月1日現在）



互野 利夫議員

『令和2年度予算編成は』 『苫小牧信用金庫によるATM設置は』

【予算編成の主な方針】

問 令和2年度予算の編成方針について伺います。

答 自主財源の地方交付税が、総務省の仮試算で4%増の発表がありました。社会保障費、消費税引き上げ、保育料無償化に伴う経費の増や過去の災害に伴う繰入金増加など厳しい財政状況を踏まえ、事業採択に当たっては緊急性や必要性による優先順位づけ、事業、施設の廃止や縮小等で経費節減を図り財政健全化に向けます。創意工夫ある予算編成を第2次日高町総合振興計画に基づいたまちづくりを推進します。

問 学校給食費完全無償化の予定があるようですが、現在の財政を考慮すると令和2年度からの完全実施ではなく、数年計画での完全無償化を再考してはいかがですか。

答 子育て支援の重点施策であり、令和2年度から実施の予定で進めます。

【町内の均衡ある発展】

問 新年度に向けて、次の件について伺います。

①農道・用水路等維持に対する補助制度導入 ②日高地区の農業振興策

答 ①農業の多面的機能支

払交付金制度であり、日高地区で実施可能か関係者と協議します。②地区や個々農家で、営農上目指すものを決めて、農協や町とタッグを組んで事業展開していくべきと思います。

問 町有林施業の予定

答 門別地区は皆伐一カ所、日高地区は現地確認の上、除間伐の予定です。

問 ひだか漁協による水産加工施設の進捗状況

答 事業が遅延しているようですが、令和3年度完成予定です。

問 特産品の開発

答 ホオズキ・タコロッケが令和元年度で行っていましたが補助制度が終了

したので今後は民間で開発されたもののPRを実施します。

問 直売所「ひだから」の運営支援

答 運営計画書等により相談に乗ります。

問 町道・橋梁の整備予定

答 門別地区は継続事業と新規、日高地区は15号

問 線の調査設計測量で実施は令和3年度以降の予定です。

問 アイヌ政策交付金の導入と事務局支援

答 現在対象となる事業は考えていません。各種資料作成の協力はしています

問 が事務局等の対応はしていません。

問 日高産業学習制度の職員退職に伴う補充

答 補充については随時募集して確保の予定です。

問 (以上のほかに質問するも

具体的答弁のなかった事項
・日米貿易協定等による和牛等の増頭等対策
・森林を活用した新規事業の導入

・人口増につながる企業誘致
・「仕事も休暇も我が町」での取り組み
・登山者向けの山小屋設置

《答弁者 町長・企画財政課長・農務課長・経済観光課長・地域経済課長・建設課長・住民課長・教育委員会生涯学習課長》

【ATMの設置】

問 苫小牧信用金庫日高代理店廃止に伴うATM

の総合支所への設置を断つたと聞き及んでいるが事実ですか。

答 日高代理店の店舗については町に譲りたいとの意向がありました。有効利用ができないとのこととお断りしてきました。ATMの総合支所内への設置についてはお断りしていません。

《答弁者 地域住民課長》

(この他に「日高診療所について」の質問がありました。)



佐藤はなえ 議員

『街路灯設置状況の総点検を』 『児童生徒の携行品の対応は』

【街路灯設置】

問 保育所・学校等の安心安全を確保できる街路灯は不可欠です。例えば緑町20号線の小学校から児童館へ向かう道路が冬期間には日没が早く、暗くて危険です。街路灯設置の検討をされてはいかがですか。

答 道路照明施設を設置するための特定財源は確保も難しく、道路整備の中で街路灯を設置することは極めて困難です。

問 公共施設及び施設周辺の街路灯設置状況の総点検が必要と考えますが、冬期間は特に暗いと感じる町道があることは理解していますので、通路などの防犯上必要となる箇所について、今一度、点検を行います。

《答弁者 建設課長》

【児童生徒の携行品対応】

問 二〇一八年九月八日付「児童生徒の携行品に係る配慮について」文科省の通達を教育委員会は、どのように認識をされていますか。

答 教科書の大形化や教材が増えていると認識しており、通学時の携行品の重さによる児童生徒の負担が大きくなっていると考えています。

問 通達に基づいた具体的な対応を各学校に依頼しましたか。

答 各学校で取り組むように通知依頼しています。各学校現場の対応と結果、町内の小中学校の現状を伺います。

問 各学校の教職員で検討したのち学校に置いて

良いものをリストアップし、保護者に周知、各種ファイルや資料集などを置いて良い（置き勉）としている学校もあります。

問 実施された学校は、何校ありますか。

答 全ての小中学校8校で、「置き勉」を実施しています。門別中学校では、全てのものを置いて良い、持ち帰るものは生徒自身に

任せて、当然、家で勉強する場合に必要なものを持ち帰っています。

問 保護者への携行品アンケートを実施してはいかがですか。

答 保護者へのアンケートは現在考えていません。対応としては、学校単位で基準を決めて実施することを求めています。

問 「置き勉」の対応は、必要として認識はあり、学校教職員の皆さんも同じ

お考えはあると思います。教育長のお考えを伺います。

答 学力面を考えると家庭学習が定着してほしいと考えています。また「置き勉」は、ボックス等整備を進めながら、通学時の携行品の軽減を図っていきたいと考えます。最終的には学校と協議を進め、決めた

《答弁者 教育長・教育委員会管理課長》



《 通学時の様子 》



菊地日出夫議員

『生活道路の改修工事を』

【早急に改修工事を】

問 町道富川西23号線から国道につながる階段について、平成29年3月10日の大雨で階段の側溝が壊れ、雨が降るたびに国道に砂利が流れ出る状況です。

現在、土のうを積み通行止めになっています。

昨年の胆振東部地震で階段も大きく壊れましたし、平成27年の町道富川西23号線整備により、雨水もこの階段の側溝に流れ込んでいる現状を踏まえ、町で補修工事を行うべきと思います。

答

要望箇所の階段及び排水施設については、町の施設及び用地ではないため、町が管理し補修することはできません。

問

国土交通省と地主及び当時大蔵省の土地であることから、協議し許可を取って階段を設置したので町が知らないことはないと思います。

答

現状を調べた結果、土地の所有者は町ではないため、町で補修することはできません。

問

町道富川西23号線の雨水が階段の側溝を流れ、国道の側溝につながっています。町道に認定していません。

町内会でできる工事だしたら早急に行います。

しかし、国土交通省、開発局と町、また地主とも協議をしなければならぬ事案です。地主さんとも将来連絡が取れなくなることも考えられ、町道が壊れたときも補修ができなくなる。町道の雨水枅から溢れた水は、今後も階段の側溝に流れて確実に壊れていきます。いつまで補修しない現状のままにしておくのですか。

答

町であらためて協議をし、対策なり対応を考えていきたいと思えます。

問

協議するとのことですが、春になって雨が降り出すと崩れる可能性が高い確率で予想されます。

地震で隣の庭に石を積んだところも緩んできていますので、早急に対応をお願いしたいのですが、町長はどのような考えですか。あれだけのものを民間で造ったという事はあり得ないと思っておりますので、町で直してほしいと思えます。

答

この件については、写真も見ながら説明受けました。まず土地は民地、その階段含め側溝も町で造ったという認識はしていない報告を受けています。

民地で、施設を町が造ったものではないとなれば、現状での補修は難しいという認識です。

問

もともと車が通ることのできた道路でしたが、その道路での子供の死亡交通事故を機に、町内会・富

川議員会も含めお願いして、町で階段及び側溝を造ったのは間違いないことです。

答

町で造ったのかを含め、どのような経緯で階段と側溝を造ったのか、もう一度確認したいと思えます。

〈答弁者 町長・建設課長〉



小園 暁子 議員

『小中学生の学力向上を』『富川高校の存続を』『地域住民の足としてのバス運行を』

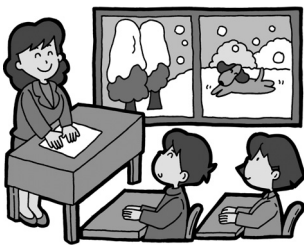
【小中学生の学力向上】

問 四月に実施された全国学力、学習状況調査の結果が七月に北海道教育委員会から公表されています。日高町での結果を教えてください。

答 北海道教育委員会では各学校の結果数値が公表されず、回答できません。管内別の平均正答率は全ての教科で全国全道を下回っています。全道14管内中、小学校国語は12番目、算数は11番目、中学校国語は9番目、数学は10番目、英語は8番目です。

問 前年度と比較してどうなっていますか。

答 それぞれ順位は上がり、改善はされていると考えています。



低い原因は何ですか。町内でも学校間の格差は大きいようですが。

答 授業に取り組む姿勢、家庭学習の少なさも原因だと思います。学校間で差があるのは事実で、宿題を増やす、学年掛ける10分プラス10分の家庭学習を推進するなど継続して実施するよう考えています。

《答弁者 教育委員会管理課長》

【富川高校存続】

問 昨年度の入学生が少なく高校の存続が危ぶまれましたが、今年の志願者数はどうなりましたか。

答 現在、願書の請求は34件です。地元から29名、管外3名、道外1名、他1名となっています。

問 存続のための対策を立てられていますか。

答 学校側の取り組みは、文部科学省によるICT活用推進校の実施状況をホームページで発信したり、町内外の中学校に校長が出向き、高校の魅力のPRに努めています。町教育委員会としては、小中学校との学習会の開催や連携、富川高校への支援策を保護者へ周知していきます。

《答弁者 教育長・教育委員会管理課長》

【地域住民のバス運行】

問 交通弱者、その予備軍と思われる高齢者も今後増え続け、公共交通の現状の把握と将来に備える必要があると思います。現在運行されている生活路線の利用状況と経費を伺います。

答 全てのバス運行経費は年額4027万6千円です。

問 全国的に運転手不足が問題になっています、対策はありますか。

答 日高管内全体での取り組みは行っていませんが、バス運転手合同採用説明会の周知を町広報誌等に掲載し周知協力しています。

《答弁者 企画財政課長》

町内バス運行利用状況 (年間)

日高地区	乗客数	運賃収入
占冠線	1817人	86万5千円
岩内ダム線	196人	通学等無料
千栄線	2692人	8万6千円
日高門別線	380人	3万1千円
町内循環バス	2246人	12万6千円
門別地区	乗客数	運賃収入
広富線	2267人	32万5千円
豊郷線	266人	1万4千円
清島線	96人	9千円
厚賀富川線	26人	高齢者バス無料
厚賀太陽線 (新冠町と共同運行)	78人	182万7千円



真壁 悦夫議員

『非正規町職員の働き方改革は』

【非正規職員】

ていますね。

問 町の職員として働く非正規職員は、おおよそパート、フルタイムの二つの働き方に区別されますが、何人配置されていますか。

答 経験年数に応じて給料を上げていますが、今までは最低賃金をもとに計算していたので、正職員と比べると低くなっています。期限つき任用では一年一年の更新で上がり幅も少ないため、このたび会計年度職員制度を導入することで、一定程度改善するものと考えます。

答 門別地区は173人で、フルタイム勤務の方が96人、パートタイム勤務の方が77人です。日高地区は53人で、フルタイム勤務の方が27人、パートタイム勤務の方が26人となっています。

問 町の正規職員というのは現状、おおよそですが、323人です。非正規職員は、フルタイム、パートを合わせて226人で全職員の41%です。保育所の職場だけで見ると全職員の73%の非正規職員に、この町の仕事を支えられているということですね。

答 31年4月1日現在の数字はそのようになっています。保育所については、門別地区であれば職員は16名、臨時職員が43名、日高地区であれば職員が3名、臨時職員が9名。臨時職員に支えられている職場と認識しています。

問 自治体の非正規職員は、一般事務はもとより保育、給食調理、図書館職員、看護師、看護補助員、学童保育、ケースワーカー、消費生活相談などの職種に広がり、本格的恒常的業務を担っています。しかし、給料は正規の3分の1から半分程度、任用期間は半年や1年の期限つきで繰り返し任用され、何十年働いても昇給は無し、各種手当も不十分で、年休や各種休暇でも正規職員と差がつけられ

答 勤務時間を見直して、パートタイムとフルタイムに分けて計算をし、賞与の分2カ月支給を、2・6カ月支給にして、約2200万円ぐらい増えます。

職員が9名。臨時職員に支えられている職場と認識しています。

また、退職手当組合の加入が大きく、現段階の試算で約3000万円以上の負担が出ると考えています。

【会計年度任用職員制度導入】

制度導入に当たっては、現在のお金がかかりましたか。

問 制度導入に当たっては、現在の職を整理、または人員削減する事を考えていますか。

答 システム改修だけで44万円です。その他経費は、システム改修により、その後の募集をするなど、そういう人件費に経費がかかると思います。

答 現在の職を整理、削減は考えていませんが、勤務時間の見直しにより、フルタイム会計年度任用職員、パートタイム会計年度任用職員のどちらが適しているかを検討していきます。

問 制度導入の目的が非正規公務員の処遇改善を含むことから財源は国が責任を持つて保障すべきと思いますが。

問 会計年度任用職員制度になることで、これまで支給されなかった期末手当が支給できるようになるのですが、町支出の人件費はどのくらい増えますか。

答 国の法律改正による導入なので国が財源措置するべきであると考えています。

答 勤務時間を見直して、パートタイムとフルタイムに分けて計算をし、賞与の分2カ月支給を、2・6カ月支給にして、約2200万円ぐらい増えます。

《答弁者 総務課長》
(この他に「JR日高線について」「低所得者、生活困窮者対策等について」質問しました。)

問 制度導入に当たっては、現在の職を整理、または人員削減する事を考えていますか。

また、退職手当組合の加入が大きく、現段階の試算で約3000万円以上の負担が出ると考えています。

問 システム改修にはどのくらいお金がかかりましたか。

システム改修だけで44万円です。その他経費は、システム改修により、その後の募集をするなど、そういう人件費に経費がかかると思います。

問 制度導入の目的が非正規公務員の処遇改善を含むことから財源は国が責任を持つて保障すべきと思いますが。

国の法律改正による導入なので国が財源措置するべきであると考えています。



高橋 克徳 議員

『行政改革推進室とSDGsの取り組みは』 『インフルエンザ予防接種実施の現状は』

【行政改革推進室とSDGsの取り組み】

問 年度途中での発令の経過を伺います。

答 行政改革推進室は総務課で兼務し、災害の整理、会計年度任用職員制度の導入をはじめ、いろいろな課題を抱えており、その中で行政改革を進めるため

には、できるだけ早い時期に専任を置いた方がよいと考えて発令したものです。

また、年度当初は専任という考えがなく早急に取り組まなければならない事項が発生したことから今回の発令となりました。

問 今後の行政改革への取り組みと到達目標はどのようになっていますか。

答 事務事業の見直し、組織機構の見直しを進め

ています。その見直しの効果として、一定程度の職員削減も行えると考えています。

問 組織機構の見直しについて、令和2年度中に固めて、令和3年4月と考えています。

答 SDGsの取り組みは行政改革推進室が専任か。

問 当面取り組みは考えていません。第2次日高町創生総合戦略策定する時にSDGsの目標を意識していきたいと考えています。
《答弁者 本庁担当副町長・行政改革推進室長》

【予防接種の実施】

問 門別国保病院、日高診療所は、事前予約制ですが、その根拠を伺います。

答 門別国保病院においては、例年インフルエンザの予防接種開始日より数日間

は接種希望者が殺到し、接種、会計までの待ち時間が長時間となり、大変ご不便をおかけしてまいりました。

また、ワクチンの入荷量や入荷時期などによりワクチンが不足するなどの課題もあり、院内で協議を行い

事前には一定のワクチン確保を行い、希望者に安定した予防接種ができるよう事前

予約としました。日高診療所においても同様です。

問 門別国保病院の事前予約は、新聞折り込みであったが、町広報での周知はできなかったのか。

答 院内の管理者会議で協議をしている中で、チラシ作成が遅れ、新聞折り込みとなってしまいました。

問 富川診療所は従前通りの対応であったが問題点はなかったか。

答 富川診療所は従前通りの対応であったが問題点はなかったか。

答 昨年の実績をふまえ、一定のワクチン量を確保し接種希望者に安定した供給ができるよう努めたところですが、流行が早まったこともあり、開始日から二日間は接種や診察、会計までの待ち時間が長時間となり、大変ご不便をおかけしました。

問 町立医療機関の対応について、各事務長同士の打ち合わせが必要ではないですか。

答 各医療機関の事情も異なりますが、今後の対応について連携をとっていきたいと思えます。

《答弁者 門別国保病院事務長・日高国保診療所事務長・富川国保診療所事務長》

「SDGs」とは

2015年9月に国連開催サミットの中で、長期的な開発の指針として決められた「持続可能な開発目標（17項目）」、貧困や飢餓といった問題から、働きがいや経済成長、気候変動に至るまで、21世紀の世界が抱える課題を包括的に挙げた国際社会共通の目標です。

議会ライブ中継！！

ユーチューブ

令和元年会議よりYouTubeで、

配信試行しています。

会議当日に議場へ傍聴に来れない方でも、今後、開催される会議はこちらでご覧になれます。

日高町議会 ユーチューブ ○月会議



10月会議

令和元年10月25日

同意

同意可決

町の表彰条例に基づく令和元年度の被表彰者は次の方々です。

▼社会貢献表彰

宮川 正己 氏 (札幌市)
浦重 博 氏 (富川東)
宇野 常信 氏 (富川東)
鈴木 繁一 氏 (富川南)
佐藤 正徳 氏 (字三和)
坂田 康雄 氏 (字旭町)
▼産業貢献表彰
田中 義光 氏 (字正和)
姉川 規晃 氏 (字豊田)
▼善行表彰
竹岡 新次 氏 (門別本町)

議案

原案可決

▼日高町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
住民票等への「旧氏」の記載が可能となったことに伴い、「旧氏」を表した印鑑登録が可能となる改正

▼工事請負契約

平成31年度公営住宅周辺

道路改良工事(表町団地)

○工事場所

沙流郡日高町富川南地内

○工事の概要

道路工 一式

管路工 一式

工事延長 231.04m

○工期

令和元年10月28日から

令和2年2月28日まで

○契約金額

5423万円

○契約の相手方

株磯田組

原案可決

歳入歳出総額
5億4815万円

補正額
2100万円増

◆令和元年度補正予算

下水道会計(第2号) 2100万円増

●主要内容 (下水道会計)

富川汚水第1116号枝線管渠改修工事増 2100万円

11月会議

令和元年

11月20・21・22日

町長の行政報告

支援給付金請求書誤送付

年金生活者支援給付金制度は本年10月から開始された制度で、消費税率引上げ分を活用し、公的年金等の収入金額や所得が一定基準額以下の方に、生活の支援を図ることを目的として、年金に上乗せして支給する制度となっております。

この年金生活者支援給付金受給対象者の誤った所得データが、厚生労働省に送付されたため、対象者以外の一部町民に受給できる旨の通知と給付金請求書が誤送付されたものです。

原因としましては、当町の所得データに係るシステムの管理業務を受託している委託業者が、支給判定のもととなる世帯や所得状況のデータを作成する際に、プログラム設定を誤ったた

めでありました。

誤送付された方々には、お詫びの文書を送付しておりますが、今後は確認を徹底し、再発防止に努めてまいります。

J R日高線

11月12日に開催されました、J R日高線（鶴川・様似間）に係る臨時町長会議の結果についてであります。J R日高線（鶴川・様似間）につきましては、平成27年1月以降、高波や相次ぐ台風被害により不通となっております。この間、災害復旧に向けた要望・要請活動や沿線地域における公共交通について、管内7町及び関係機関等と協議・検討を進めてきたものであり、平成30年7月30日開催の臨時町長会議におきまして、J R日高線沿線地域における公共交通について、①全線鉄路での復旧、②鶴川く日高門別間を鉄路で復旧し、残りをバス転換、③全線バス転換という3つの交通モードに絞り込んだところであります。

本年、9月24日に開催されました、臨時町長会議におきまして、日高地域における今後の広域地域交通案について、管内7町の考えが出され、全線バス転換を

要望した町が5町であり、全線鉄路での復旧を望んだ町が1町、当町は、鶴川く日高門別間を鉄路で復旧し、残りをバス転換という主張をしたものであり、管内7町の意見がまとまらなかったことから、次回の臨時町長会議までに、各町、議会と調整のうえ、最終的な判断をすることとなったものであり、11月12日の臨時町長会議の結果につきましては、J R日高線（鶴川・様似間）の全線バス転換に向け、管内7町がJ R北海道と正式に個別協議に入ることを決めたものであります。日高町としてこれまで、鶴川を境に扱いが異なる線区となつてきていることへの疑問を訴えてきましたが、結果的には胆振東部地震による沙流川橋梁の被災もあり、現実的には日高門別駅まで運行が難しくなつたと判断

し、不本意ながら最終的に全線バス転換に同意したものであります。

生活支援ハウス利用料過大徴収

平成23年11月に開設いたしました生活支援ハウス日高せせらぎ荘の利用料の計算にあたり、現在入居している5名のうち2名の方について過大徴収をしていたことが判明いたしました。

生活支援ハウス日高せせらぎ荘の利用料の月額の設定につきましては、居室料、管理費、光熱費等の定額部分、利用実績により計算される食事料のほか、条例で定める利用者の申告による対象収入に基づく利用者負担額を合算して月額の利用料とすることとなっておりますが、この利用者負担額の算定に誤りがありました。

原因といたしましては、利用者負担額は前年の収入から、租税、社会保険料、医療費等の必要経費を控除した後の収入額により、各階層区分にあてはめ毎年度決定するものでありますが、

このたびは毎年度収入申告書の提出を求めるべきところを求めず、入居申請時に提出いただいた収入申告書を基礎として、本年10月分までの利用者負担額を決定していたことが判明いたしました。

このたび判明した過大徴収額は、2名の利用者のうち1名の方は平成24年4月から令和元年10月分まで455万円、もう1名の方は平成25年1月分から令和元年10月分まで143万4645円あります。

高額となる利用料の過大徴収により2名の入居者に長年にわたり経済的負担と不安を与えてしまいましたことに對しまして、心よりお詫び申し上げますとともに、丁寧にご説明を申し上げ速やかに還付の手続きを進めさせていただきます。今後はこのような誤りが起きないように利用料決定に係るマニュアルを作成するとともに、法令解釈や確認作業を徹底することで再発防止につとめ福祉行政の信頼回復に努めてまいります。

報 告

▼平成30年度一般会計継続費の精算報告
▼平成30年度下水道事業特別会計継続費の精算報告

認 定

▼平成30年度一般会計決算 認定

歳入	120億8393万円
歳出	119億2141万円
差引	1億6252万円
翌年度へ繰り越す財源	9405万円
実質収支額	6846万円



▼平成30年度特別会計決算 認定

区分	歳入	歳出
国民健康保険	16億2989万円	15億9496万円
後期高齢者医療	1億8076万円	1億7873万円
日高国保診療所	3億2049万円	3億1057万円
富川国保診療所	2億1823万円	2億1574万円
介護保険	12億5912万円	12億2906万円
簡易水道	1億8318万円	1億3674万円
下水道	7億9276万円	7億6444万円

議 案

◆令和元年度補正予算 原案可決

	補正額	歳入歳出総額
一般会計(第3号)	658万円増	101億9134万円

●主な内容 (一般会計)

日高せせらぎ荘利用料返還金増	658万円
----------------	-------

議案等賛否一覧表

(賛否が分かれた議案等のみ掲載しています。掲載されていない議案等は全会一致で可決しています。)

会 議 名	提 出 者	議 員 名	議 決 結 果	寺 越 哲 夫	小 園 暁 子	白 石 典 昭	佐 藤 則 男	梅 木 聡	高 橋 克 徳	工 藤 守 弘	眞 壁 悦 夫	互 野 利 夫	門 別 初 男	村 井 文 夫	佐 藤 は な え	神 保 一 哉	菊 地 日 出 夫	西 尾 英 俊	
11 月 会 議	町 長	平成30年度日高町一般会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	※議長	
		平成30年度日高町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		×
		平成30年度日高町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		×
12 月 会 議	議 員	日米共同訓練の規模縮小とオスプレイ参加の中止を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	○	○		
		災害救助法の見直しを求める意見書	否決	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	○	○		

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 ※議長は表決権がない（一部を除く）

● 議会のうごき ●

【10月】

- 15日 富川高校生と議員の懇談会
- 19日 日高分屯地創立51周年記念式典
- 25日 議会10月会議

【11月】

- 13日 全国議長大会
- ～14日
- 18日 議会運営委員会
- 19日 ファースト 応援大使表敬訪問
- 20日 議会11月会議（1日目）、全員協議会
- 21日 議会11月会議（2日目）
- 22日 議会11月会議（3日目）、日高町功労者表彰式
- 25日 北海道町村議会議長会理事会

【12月】

- 6日 議会運営委員会
- 11日 議会12月会議（1日目）
- 12日 議会12月会議（2日目）
- 13日 議会12月会議（3日目）

【1月】

- 4日 日高消防出初式
- 12日 日高町成人式
- 22日 日高アイヌ文化振興シンポジウム
- 25日 第七特科連隊創隊64周年記念式典

委員会活動

総務・民生常任委員会

- 11月21日 所管事務調査
- 12月2日 所管事務調査
門別温泉とねっこの湯事業
- 12月12日 所管事務調査、学校給食の無償化
12月会議付託案件

産業・建設常任委員会

- 11月5日 現地調査（富川中学校通学路ほか）
日高町観光協会の運営費補助等
日高高原荘の今後の計画
- 12月11日 所管事務調査

広報広聴常任委員会

- 11月13日、11月26日、12月2日、
1月28日、1月30日、2月4日
議会だより

議会改革調査・検討特別委員会

- 1月10日 今後のスケジュール計画等

一部事務組合

日高西部消防組合

- 12月19日 消防議会

平取町外2町衛生施設組合

- 12月19日 衛生施設議会

胆振東部日高西部衛生組合

- 12月23日 西部衛生議会

議会傍聴に行こう

会議当日に議場傍聴席入り口の受付にて氏名等をご記入いただくだけで傍聴できます。

※日高総合支所では、テレビ中継で傍聴ができます。

次の会議は **3月5日** からの予定となっております。



編集後記

日頃から議会、議員活動に格別なご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

二〇一九年五月、「平成」から「令和」へと元号が改まった昨年は、日高町において大きな災害もなく、平穏な一年であったと思えます。今年はおリンピック、パラリンピックが開催されスポーツで熱くなることでしょう。

議会としても、活発な議会活動に取り組み、令和に定められた文化が育まれるように町民の皆様と共に頑張つて参りたいと思っております。今年もよろしくお願いたします。

発行 北海道日高町議会
発行日 令和2年2月21日
編集 広報広聴常任委員会
真壁 悦夫 梅木 聡夫
佐藤 はなえ 互野 利夫
工藤 守弘 高橋 克徳
佐藤 則男 白石 典昭
住所 〒059-2192
北海道沙流郡日高町門別本町210-1
TEL 01456-2-6500 FAX 01456-2-5611